

## 明治期～大正期～昭和（戦中まで）の年表

## 2 大正期

19 世紀中盤から、ヨーロッパを中心に近代科学と技術が劇的に発展する。物理学の基礎理論も含めて、電気や無線通信分野、化学分野の進歩が著しかった。

20 世紀初頭には、飛行機が発明され、第一次世界大戦には、戦車、毒ガス、飛行機も登場し、戦いの様相は更に一変、大量殺戮の戦争となる。この戦争での犠牲者はおよそ 3,700 万人とも言われている。

一部の人間の欲望は、留まる所を知らず。その権力者の意向で、領土の拡大と悲惨な戦争が続いた。恐ろしいことである。

天皇制の下でもあり、日本の学校教育は、国の方向に沿って行われた。

- 1913(大 2) 原子の構造 アンモニアの合成
- 1914(大 3) **第一次世界大戦** (7月～) 日本：連合国側として参加
- 1915(大 4) **第一次世界大戦** 一般相対性理論
- 1916(大 5) **第一次世界大戦**
- 1917(大 6) **第一次世界大戦** ロシア革命
- 1918(大 7) **第一次世界大戦** (~11月) スペイン風邪 陽子の発見
- 1919(大 8) スペイン風邪
- 1920(大 9) 国際連盟成立 ドイツにナチス スペイン風邪 (アメリカ) ラジオ放送始まる
- 1921(大 10) ドイツに莫大な賠償額要求決定 イタリアにファシスト党
- 1922(大 11) ソビエト社会主義共和国連邦成立
- 1923(大 12) 関東大震災
- 1924(大 13)
- 1925(大 14) 量子力学 (日本) ラジオ放送始まる
- 1926(大 15)